

2013年7月

●REPA 情報交換会(2013年7月30)

REPA 情報交換会が7月30日(火)18時30分から行われました。

市橋利夫会員の「これからのエネルギーを考える」の講演で、エネルギーの質と量の考え方から、化石エネルギーはいずれ枯渇する、再生可能エネルギーに対する考え方、地球温暖化とCO2関係など、エネルギー問題を多岐にとらえた紹介がなされ、質疑も活発に行われました。

当日の配布資料に関しては事務局 support@repa-npo.com までご連絡ください。

●霊山PJ会議(2013年7月27日～7月28日)

霊山プロジェクト会議は7月27、28日(土、日)霊山で実施されました。稲は水田ブロックごとの多少の差異はありますが、順調に生育しています。収穫と分析が楽しみです。土壌等の分析作業ならびに竹炭効果基礎試験も終了し現在データ集計解析中です。

メタン発酵装置はメタン収容タンクの増設(約3m³を3基)を行いガスエンジンの起動試験をおこないました。これで炊飯等の熱利用だけでなく、電気も起こすことが出来るようになりました。

●メタンガス発酵プロジェクト現地作業状況(2013年7月28日)



バイオガス製造実証装置では、処理量が増えて来てガス発生量の増加が見込める事と、このサイズの処理装置でもガス発電が十分可能であることを示すため、ガスタンクの増設(約3m³×3基)とガスエンジン発電機の対設置をおこないました。今回試運転をおこない、ガス空気の流量調整を行い成功裡の内に終了しました。

ガスタンク増設工事の状況 全員汗だくです

●水田除染活動(2013年7月27日～7月28日)

霊山プロジェクト会議は7月27、28日(土、日)霊山で実施されました。稲は水田ブロックごとの多少の差異はありますが、順調に生育しています。収穫(稲刈りは10月中旬か?)と分析が楽しみです。今回は各水田の空間線量率の測定を行いました。



試験水田遠景



空間線量率測定中の奥村理事と市橋会員

土壌等の分析作業、ならびに竹炭効果基礎試験も終了し現在データ集計解析中です。興味ある数値がでてつあります。ネット(ナイロンストッキングを利用)に封入した竹炭が、どの程度汚染された土壌を吸着するかの試験です。6月の写真と比較してみてください。



土壌等の分析中



土壌と竹炭を混合攪拌し、2ヵ月静置、自然乾燥後の状態



1ヵ月後のネット封入粒子の細かい竹炭



1ヵ月後のネット封入粒子の粗い竹炭

●お知らせ(2013年7月15日)

REPA と関係のあるドイツのメタン発酵装置の世界屈指のメーカーである LIPP GmbH の代表取締役 Emanuel Lipp のインタビュー記事が 6 月 10 日付けの循環経済新聞に掲載されました。
記事詳細をお知りになりたい方は support@repa-npo.com へご連絡ください。

● 第 1 回 REPA 事務局会議(2013 年 7 月 6 日)

REPA 事務局会議の第一回が 7 月 2 日(火)千代田区一番町集会室で開催され、先の総会で決定された、具体的な今年度の活動方針、分担の詳細を決めました。事務局会議は隔月に開催し、より当協会の活動を活発化してまいりますのでご協力の程お願い致します。